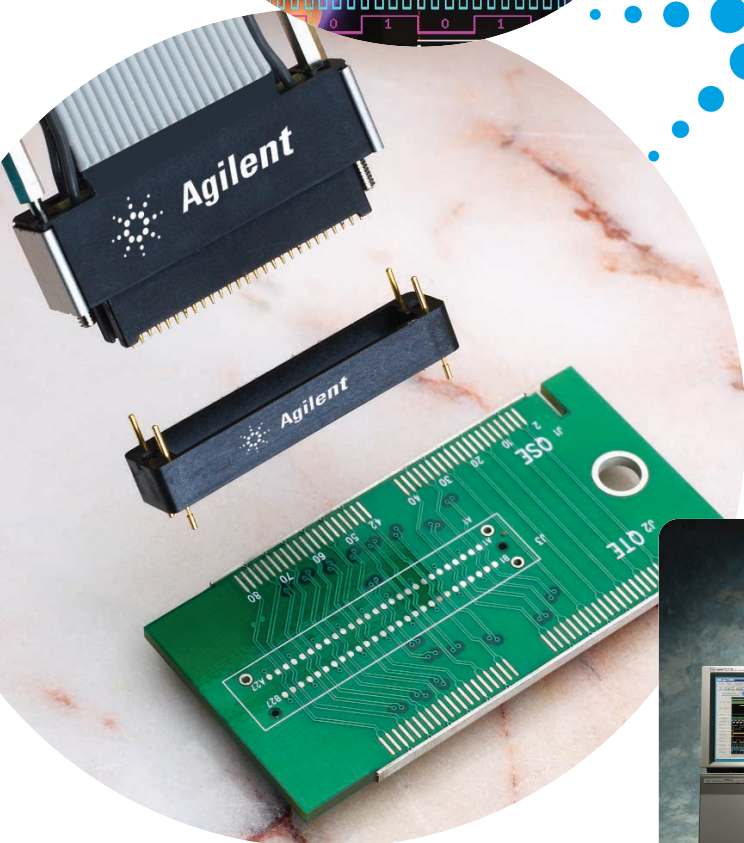
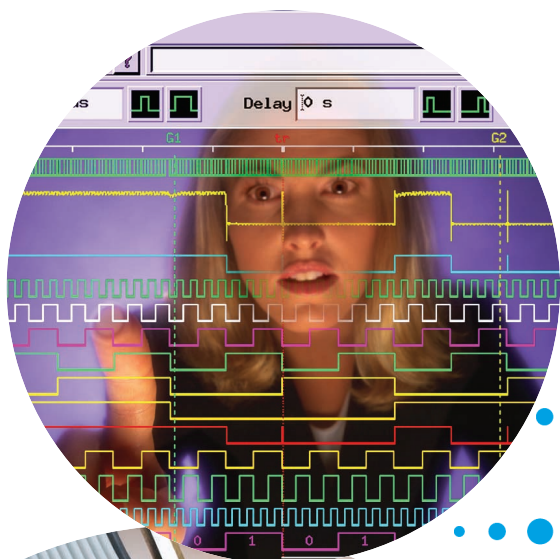


Agilent Technologies 16700B/16702B ロジック解析システム



はじめに

ボード・レベルのデバッグから シグナル・インテグリティの検証まで

Agilentの16700シリーズ・ロジック解析システムは、基本的なボード・レベルのデバッグからシグナル・インテグリティの検証に至るまでの様々な問題を解決でき、タイムトゥマーケットの目標を達成できます。

16700Bおよび16702B高性能モジュラ・システムは、様々な測定機能を持ち、システム動作を詳細に解析して、重要な情報をすばやく見つけることができます。また、正確な測定にはプロービングが非常に重要になります。そのため、Agilentでは、信頼性が高く影響の少ないプローブを提供し、ロジック・アナライザと被試験システムを容易に接続できるようにしています。

Agilentは、いままでも、そしてこれからも、お客様のニーズの変化に対応した最先端のソリューションを提供していきます。モジュラ形式の16700シリーズは、現在必要な機能だけを購入しておき、ニーズの変化に合わせて後から拡張できます。

モジュラ・システムの選択は、ターゲットに(1)接続し、(2)データを収集し、(3)データを表示/解析するための製品群を選択するだけです。例えば、タイミング/ステート・ロジック・アナライザ・モジュール、オシロスコープ、パターン・ジェネレータ・モジュール、データ・ポストプロセッシング・ツール、プロトコル・ツールをニーズに合わせて選択します。

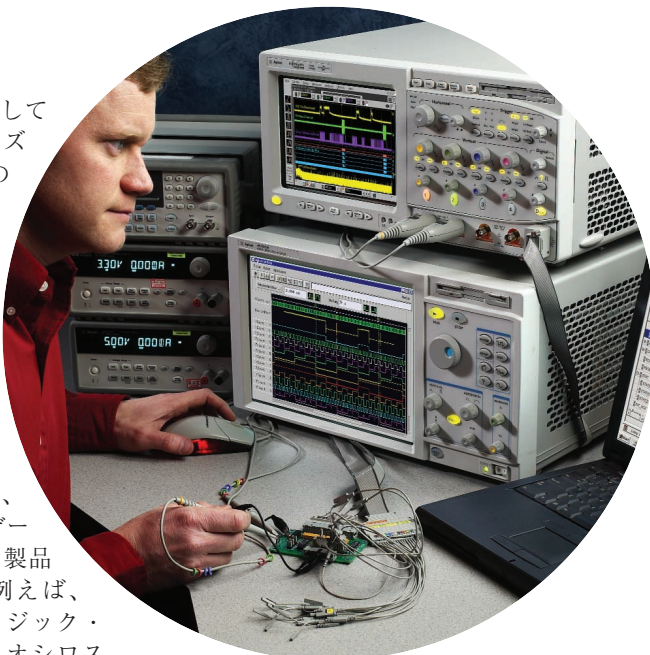


図2 Agilentの16700シリーズ・ロジック解析システムは基本的なボード・レベルのデバッグからシグナル・インテグリティの検証に至るまでの様々な問題を解決できます。

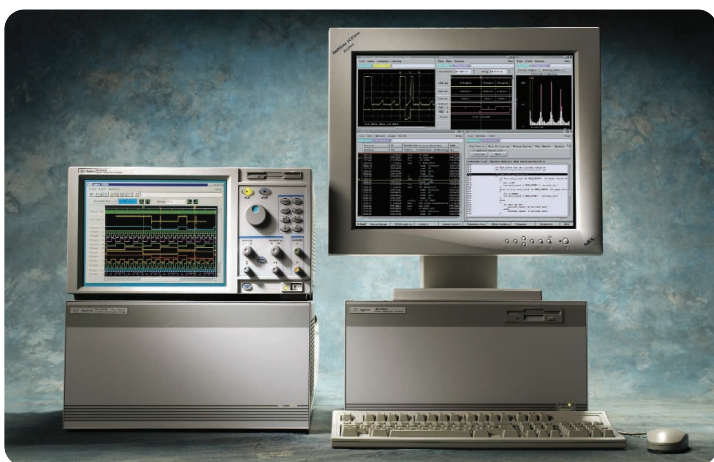


図1 16700B/16702B高性能モジュラ・システムを使えば、システム動作を詳細に解析して、重要な情報をすばやく見つけることができます。

モジュラ・システム

システム動作の詳細な解析を可能にする パワーと柔軟性

- ニーズに合わせて基本システムまたはマルチフレーム・システムを構成可能
- 現在だけでなく将来のプロジェクトにも適合するシステムで投資効率を最大に
- 複数の測定データを関連付けて表示可能
- 16702Bのタッチスクリーンで強力なロジック解析機能を容易に操作可能

Agilentのモジュラ・ロジック解析システムは、あらゆるデジタル・システムのデバッグ・ニーズに応える最高のパワーと柔軟性を備え、システムの動作を詳細に解析できるロジック解析システムを構成できま

す。アプリケーションに合わせて測定モジュール、プローブ、解析オプションを選ぶことにより、効率的なデバッグと検証が可能になります。

Agilent 16700シリーズ・モジュラ・ロジック解析システム・メインフレーム

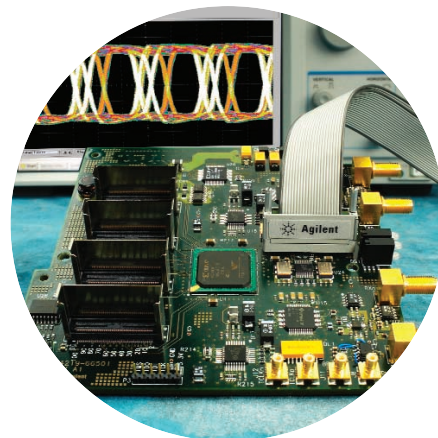
モデル番号	16702Bモジュラ・システム	16700Bモジュラ・システム	16701B拡張フレーム
インタフェース制御	タッチスクリーン、ノブ、専用ホット・キー (マウスとキーボードも付属)	マウス、キーボード	なし
スロット数	5	5	5
測定機能	タイミングおよびステート解析、パターン生成、オシロスコープ		
ディスプレイ・タイプおよび分解能	内部：12.1インチ・カラー・タッチ・スクリーン、800×600 外部：オプション003で最大1600×1200の解像度をサポート	外部ディスプレイが必要。 標準で1280×1024、オプション003で1600×1200の解像度をサポート	なし
データ表示タイプ	標準：波形、リスト、ヒストグラム、チャート、比較 モジュール固有：アイ・ダイアグラム オプションのソフトウェア・ツール・セット：ソース・コード、プロトコル・デコード、シリアル解析、システム・パフォーマンス解析 (SPA)		なし
接続機能	ロジック・アナライザ・トレースを外部の Infiniium 54800シリーズ・オシロスコープと時間相関 自動スキュー補正およびマーカ・トラッキング オフライン解析、トリガ時のEメール、ネットワーク・セキュリティのための個別ユーザ・ログイン PCではMicrosoft® Active X/COM、UNIX®ではTCP/IPソケット・ベースのASCIIコマンドによるリモート・プログラミング Webブラウザからアナライザへのリモート・アクセス (Webイネーブル) マッピングされた共有ドライブまたはマウントされたドライブ (Windows®とUNIX) を使ったファイル転送および保存		なし
16700Bおよび16702Bのオプション	オプション001：17インチ1280×1024モニタ追加 オプション003：256 MBシステムRAM、4 MBビデオRAM オプション008：18 GB外部データ用ハード・ディスク オプション009：外部リムーバブル・ハード・ディスク オプション012：マルチフレーム・モジュール		

ロジック・アナライザのプロービング・ソリューション ターゲット・システムへの高品質な接続を可能にする柔軟なプロービング・ソリューション

- 電氣的／機械的な影響の少ない高信頼性プロービング・ソリューションで容易な接続を実現
- 低容量負荷(<0.7 pF)、容易な接続、小さい占有面積を実現したソフト・タッチ・コネクタレス・プローブ
- 分散している個別の信号へのアクセスに便利なAgilentの新しい差動／シングルエンド汎用リード・セット

正確な測定は信頼性の高いプロービングから始まります。Agilentでは、汎用測定とアプリケーション固有の測定の両方のニーズに応える様々なプロービング・アクセサリを用意しています。

図3 Agilentのソフト・タッチ・プローブは、高密度、低容量負荷、差動機能を、信頼性の高い省スペース・パッケージで提供します。



Agilentロジック・アナライザのプロービング・ソリューション

プロービング方法 (アプリケーション)	信号タイプ	最大データ・レート	最小信号振幅	モデル番号	チャンネル数	ロジック・アナライザ互換性	等価負荷容量	
コネクタレス・ プロービング 小さい占有面積で多くの信号を簡単に接続可能。ターゲットにヘッダを組み込む必要がありません。	差動または シングルエンド・クロック、 シングルエンド・データ	>2.5 Gb/s	250 mV p-p	E5390A (ソフト・タッチ)	34	90ピン・ケーブル・コネクタ	<0.7 pF	
	差動または シングルエンド・クロック、 差動または シングルエンド・データ		Vmax-Vmin 200 mV	E5387A (ソフト・タッチ)	17		<0.7 pF	
	シングルエンド・クロック、 シングルエンド・データ		500 mVp-p	E5394A (ソフト・タッチ)	34		40ピン・ケーブル・コネクタ	
コネクタ・ プロービング 小さい占有面積で多くの信号を簡単に接続可能。ターゲットにコネクタを組み込む必要があります。	差動または シングルエンド・クロック、 シングルエンド・データ	1.5 Gb/s	250 mV p-p	E5378A (100ピンSamtec)	34	90ピン・ケーブル・コネクタ	1.5 pF	
	差動または シングルエンド・クロック、 差動または シングルエンド・データ		Vmax-Vmin 200 mV	E5379A (100ピンSamtec)	17			
	シングルエンド・クロック、 シングルエンド・データ	600 Mb/s	[1]	300 mV p-p	E5380A (38ピンMictor)	34	40ピン・ケーブル・コネクタ	3 pF
				500 mV p-p	E5385A (100ピンSamtec)	34		1.5 pF
				500 mV p-p	E5346A (38ピンMictor)	34		3.0 pF
				250 mV p-p	E5339A (38ピンMictor)	34		
500 mV p-p	E5351A [2] (38ピンMictor)	34						
汎用フライング・ リード・セット 個別の信号への柔軟な接続	差動または シングルエンド・クロック、 シングルエンド・データ	1.5 Gb/s	250 mV p-p	E5382A	17	90ピン・ケーブル・コネクタ	1.3 pF	
	差動または シングルエンド・クロック、 差動データ		Vmax-Vmin 200 mV	E5381A	17		0.9 pF	
	シングルエンド・クロック、 シングルエンド・データ	[1]	600 mV p-p	01650-61608	17	40ピン・ケーブル・コネクタ	1.5 pF	

[1] プローブが接続されるロジック・アナライザのデータ・レートと同じ

[2] ターゲットにアイソレーション回路の組み込みが必要

測定モジュール

カスタム測定ソリューションの作成

- 様々な測定モジュールが選択可能
- 最高1.5 Gb/sのステート解析、4 GHzのタイミング・ズーム、最大128 Mサンプルのメモリ長、差動/シングルエンド測定
- 数百のアイ・ダイアグラムによるシグナル・インテグリティの検証

様々なタイミング/ステート解析モジュールにより、デバッグに必要な速度とメモリ長が選択できます。また、ニーズに合わせて、タイミング・ステート・アナライザ、パターン・ジェネレータ、オシロスコープ・モジュールなどを選択し、カスタム・ソリューションの作成や既存の解析システムの拡張が可能です。



図4 モジュラ方式により、現在と将来のニーズに合わせて柔軟な構成が可能です。

Agilentステート/タイミング・モジュール

モデル番号	16760A ^[4]	16753A/54A/ 55A/56A ^[4]	16750B/51B/52B	16740A/41A/42A	16715A/16A/17A	16710A/11A/12A
	← 90ピン・ケーブル・コネクタ →		← 40ピン・ケーブル・コネクタ →			
モジュールあたりのチャンネル数 (単一タイム・ベース/ トリガでの最大チャンネル数)	34 (170)	68 (340)	68 (340)	68 (340)	68 (340)	102 (204)
高速タイミング・ズーム ^[3]	なし	4 GHz (250 ps)、 メモリ長64 Kで	2 GHz (500 ps)、 メモリ長16 Kで	2 GHz (500 ps)、 メモリ長16 Kで	16715A : なし 16716A/17A : 2 GHz (500 ps)、 メモリ長16 Kで	なし
最大タイミング・サンプリング・レート (ハーフ/ フル・チャンネル)	800 MHz (1.25 ns)	1.2 GHz (833 ps) / 600 MHz (1.67 ns)	800 MHz (1.25 ns) / 400 MHz (2.5 ns)	800 MHz (1.25 ns) / 400 MHz (2.5 ns)	667 MHz (1.5 ns) / 333 MHz (3 ns)	500 MHz (2 ns) / 250 MHz (4 ns)
最大トランジショナル・ タイミング・レート	400 MHz	600 MHz	400 MHz	400 MHz	333 MHz	125 MHz
最大ステート・ クロック	1.5 Gb/s	600 MHz	400 MHz	200 MHz	16715A/16A : 167 MHz 16717A : 333 MHz	100 MHz
最大メモリ長 (ハーフ/ フル・チャンネル) ^[1]	128M/ 64M ^[2]	16753A : 2M/1M 16754A : 8M/4M 16755A : 32M/16M 16756A : 128M/64M	16750B : 8M/4M 16751B : 32M/16M 16752B : 64M/32M	16740A : 2M/1M 16741A : 8M/4M 16742A : 32M/16M	16715A : 4M/2M 16716A : 1M/512K 16717A : 4M/2M	16710A : 16K/8K 16711A : 64K/32K 16712A : 256K/128K
信号タイプ	シングルエンド、 差動	シングルエンド、 差動	シングルエンド	シングルエンド	シングルエンド	シングルエンド
アイ・スキャン	あり	あり	なし	なし	なし	なし
セットアップ/ ホールド時間 (アイ・ファインダ 付き)、設定分解能	500 ps、 10 ps	1 ns (600 ps、代表値)、 80 ps (代表値)	1.25 ns、 100 ps	1.25 ns、 100 ps	1.25 ns、 100 ps	4.0 ns (アイ・ファインダなし)、 500 ps

[1] 多いほうのメモリ長は、ハーフ・チャンネル・タイミング・モードのみ
 [2] 128 Mはハーフ・チャンネルの1.25 Gb/sおよび1.5 Gb/sモードのみ
 [3] 全チャンネル、常時、同一プローブでの同時ステート/タイミング
 [4] プローブは別売

オシロスコープ、パターン・ジェネレータ

16700シリーズ用パターン・ジェネレータ・モジュール

16720A	ハーフ・チャンネル	フル・チャンネル
最大クロック速度	300 MHz	180 MHz
メモリ長	16 Mベクタ	8 Mベクタ
モジュールあたりのチャンネル数	24	48
タイムベースあたりの最大チャンネル数	120	240
スティミュラス・コマンド	初期化、ブロック、リピート、ブレイク・マクロ	
ロジック・レベル	5 V TTL、3ステートTTL、3ステートCMOS、3ステート3.3V、ECL、5 V PECL、3.3 V LVPECL、3ステート2.5 V、3ステート1.8 V、LVDS	
オーダ情報	マスタとして使用するモジュール1台につき最低1台のクロック・ポッドと、8出力チャンネルごとに最低1台のデータ・ポッドをご注文ください	

16720A用ポッド・オプション

オプション011 TTLクロック・ポッドおよびリード・セット
 オプション013 3ステートTTL/CMOSデータ・ポッドおよびリード・セット
 オプション014 TTLデータ・ポッドおよびリード・セット
 オプション015 2.5 Vクロック・ポッドおよびリード・セット
 オプション016 2.5 V 3ステート・データ・ポッドおよびリード・セット
 オプション017 3.3 Vクロック・ポッドおよびデータ・セット
 オプション018 3.3 V 3ステート・データ・ポッドおよびリード・セット
 オプション021 ECLクロック・ポッドおよびデータ・セット
 オプション022 ECL (終端付き) データ・ポッドおよびリード・セット
 オプション023 ECL (終端なし) データ・ポッドおよびリード・セット
 オプション031 5 V PECLクロック・ポッドおよびデータ・セット
 オプション032 5 V PECLデータ・ポッドおよびリード・セット
 オプション033 3.3 V LVPECLクロック・ポッドおよびデータ・セット
 オプション034 3.3 V LVPECLデータ・ポッドおよびリード・セット
 オプション041 1.8 Vクロック・ポッドおよびデータ・セット
 オプション042 1.8 V 3ステート・データ・ポッドおよびリード・セット
 オプション051 LVDSクロック・ポッドおよびデータ・セット
 オプション052 LVDSデータ・ポッドおよびリード・セット

16700シリーズ用オシロスコープ

モデル番号	16534A オシロスコープ・ モジュール	Infiniium 54800 シリーズ+E5850A 時間相関フィクスチャ
オシロスコープ・タイプ	内部モジュール	外部
最大帯域幅	500 MHz	6 GHz
最大サンプリング・レート	2 Gサンプル/s	20 Gサンプル/s
最大メモリ長	32 K	32 M
オシロスコープあたりのチャンネル数	2	2および4
単一タイム・ベース/ トリガでの最大チャンネル数	8	4

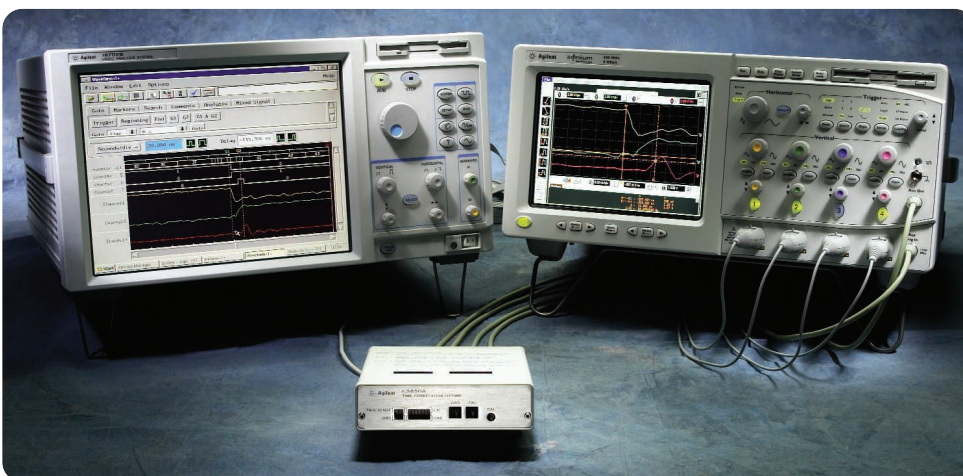


図5 E5850A時間相関フィクスチャを使えば、高性能ロジック解析システムとオシロスコープの相乗効果が得られます。



図6 16700シリーズを使えば、システムの動作を細部にわたって詳細に解析できます。

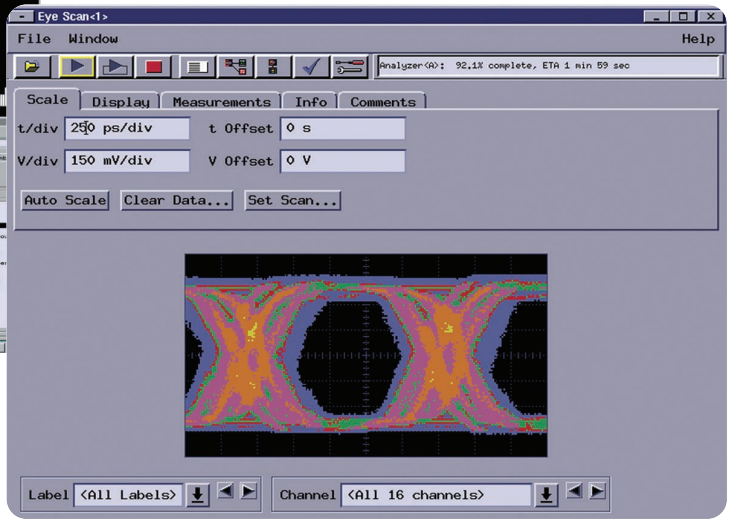


図8 アイ・スキャンを使えば、数百の信号に対して同時にアイ・ダイアグラム測定が行え、問題のある信号を簡単に識別できます。

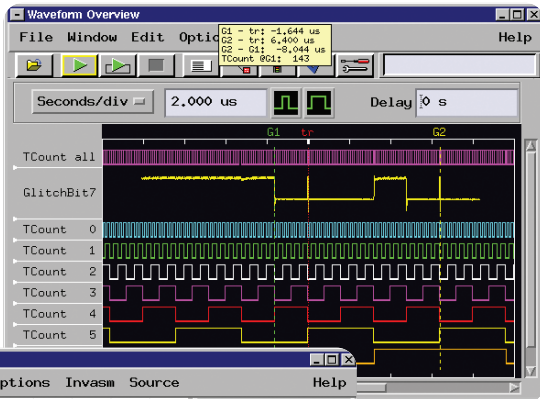


図7 複数のバスと信号の間のタイミング関係を表示して、ハードウェアの動作を検証できます。信号やバスのカラーとサイズを個別に指定することにより、見たいデータを容易に識別できます。

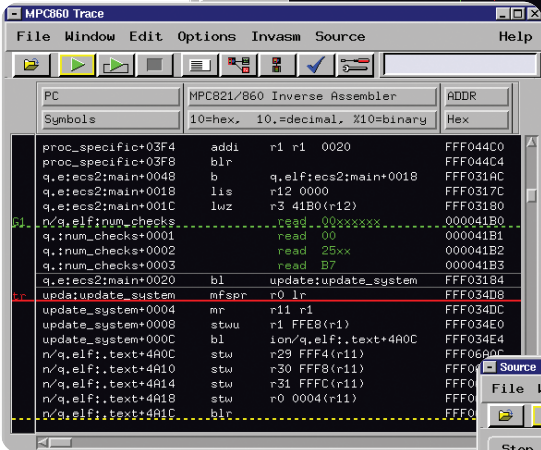


図9 データのパターンやイベントのシーケンスをリスト表示できます。データは、メモリに記録された順番で表示されます。捕捉したバイナリ・データを逆アセンブルしてプロセッサ・モニタックで表示したり、2進、16進、10進、8進、2の補数、ASCII、シンボルなどの複数の形式で表示できます。

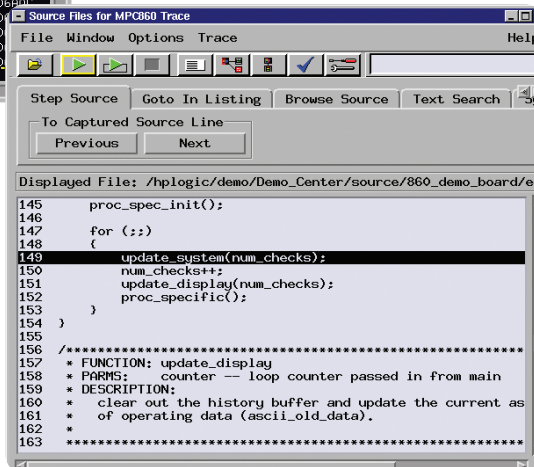
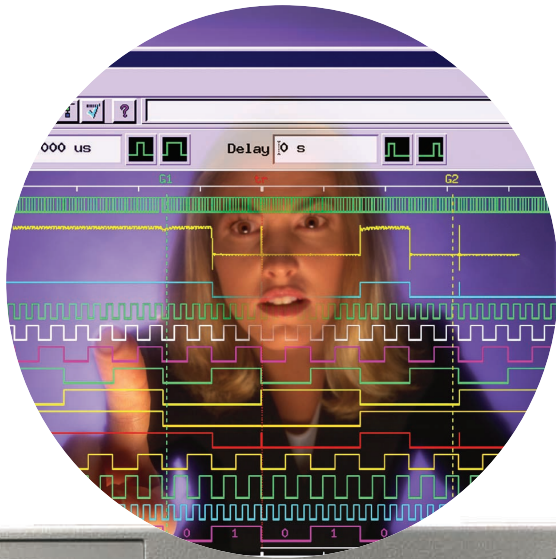
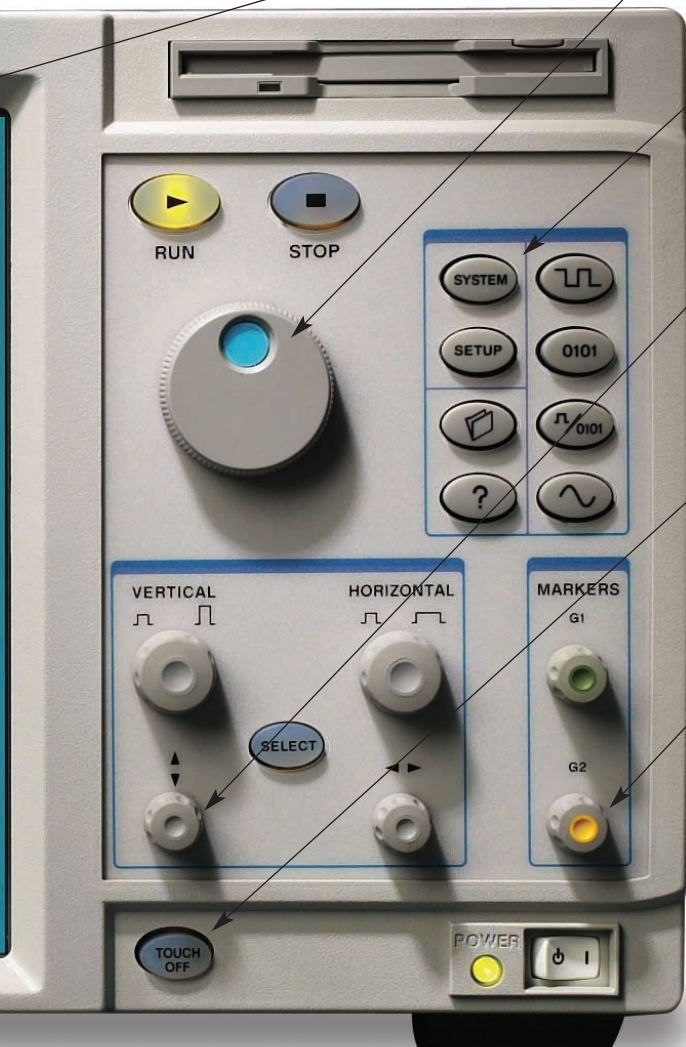


図10 ロジック・アナライザのトレースと、高級言語ソース・コードとを関連させることができます。また、ソース・コードの行をクリックするだけで次のトリガを簡単に設定できます。





12.1インチ (307.34 mm) LCDディスプレイと16702Bタッチ・スクリーンにより、多くの波形やステートを容易にモニターできます。

変数をタッチして選択し、ノブを回すだけで、変数の値を変更することができます。

専用ホット・キーにより、頻繁に使用するメニュー、画面、オンライン・ヘルプなどに瞬時にアクセスできます。

水平／垂直スケールの変更およびスクロールのための専用ノブ。問題解決に必要な情報だけを表示するように画面を調整できます。

「タッチ・オフ」ボタンを押せばタッチ・スクリーンが無効になり、画面上の異常を指さしたときに表示設定が変わってしまうようなことを防ぐことができます。

グローバル・マーカ専用ノブにより、トラッキングが容易になります。1つのドメイン (タイミングなど) で症状を観察し、別のドメイン (アナログなど) と関連付けて原因を調べることができます。

ポストプロセッシング・ツール・セット

トレース・データから有用な情報をすばやく抽出

- 大量のデータを、システム動作の理解に役立つ表示にすばやく変換
- ロジック・アナライザのトレースと、それを生成した高級言語ソース・コードとを相関
- ターゲット・システムのパフォーマンス・プロファイルを作成して、システムのボトルネックを検出し、最適化が必要な領域を抽出

ロングメモリのロジック・アナライザでは、大量のデータがあります。これらのデータをすべて解析するには、アプリケーションに適した解析ツールが不可欠です。Agilentのポストプロセッシング・ツール・セットには強力なデータ解析機能があり、収集したロジック解析データをすばやく効率的に調べることができます。これらのツールを使えば、Agilent 16700シリーズ・ロジック解析システムに、従来のタイミング波形とステート・リスト以上の機能を持たせることができます。

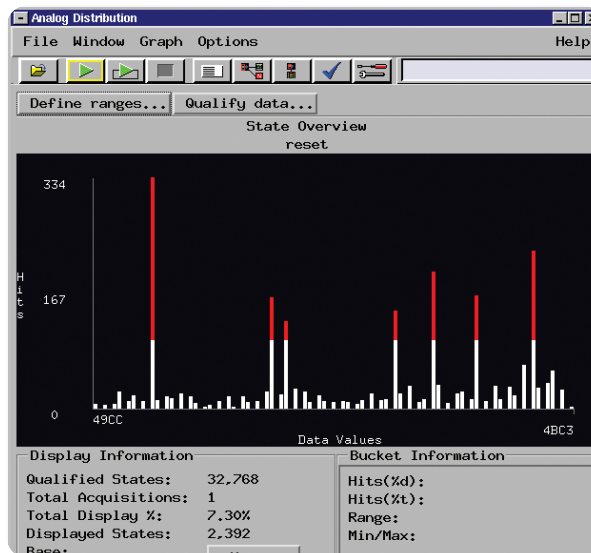


図11 ターゲット・システムのパフォーマンス・プロファイルを作成して、システムのボトルネックを検出し、最適化が必要な領域を抽出できます。

Agilentのポストプロセッシング・ツール・セット

	システム・パフォーマンス解析	シリアル解析	ツール開発キット	ソース相関
モデル番号	B4600B	B4601B	B4605B	B4620B
アプリケーション	ターゲット・システムのパフォーマンスを最適化	シリアル通信のデバッグ	重要な情報を引き出すために収集データの表示をカスタマイズ	ロジック・アナライザのトレースと、高級言語ソース・コードとを相関
機能	<p>捕捉データの統計バー・チャートとヒストグラムを作成</p> <p>ターゲットの関数またはデータ位置のそれぞれに費やされる時間の合計を表示</p>	<p>シリアル・ビット・ストリームを、理解と解析が容易な平行形式に変換</p> <p>クロック同期のビット・スタッフィングを使用するシリアル・データおよびプロトコルをサポート</p>	データを解析するカスタム・ツールをCプログラミング言語で作成可能	ソース・コードの行をクリックするだけで捕捉イベントの定義が可能

プロトコル・ツール

プロトコル・データでトリガして 標準形式で表示

- ロジック・アナライザのトレース情報をプロトコル・レベルで表示
- 標準またはカスタムのパケット・ヘッダ・フィールドによるトリガが可能な強力なトリガ・マクロ
- 独自プロトコル用にプロトコル解析をカスタマイズできるプロトコル記述言語

Agilentの16700シリーズ用プロトコル・ツール・セットは、カスタム・トリガ機能とパケット・デコード機能を提供します。業界標準プロトコルと独自プロトコルのどちらに対しても、解析とデバッグが可能です。さらに、高速なチップ間インターコネクトやバックプレーン・インターコネクトに用いられるシリアル・データの解析にも威力を発揮します。

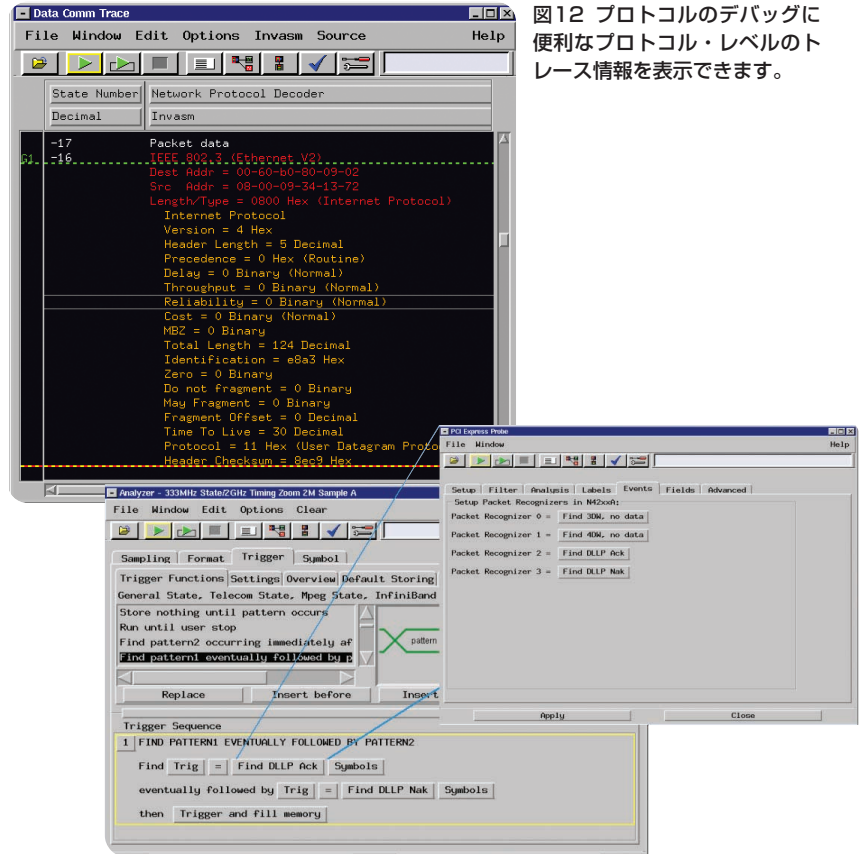


図12 プロトコルのデバッグに便利なプロトコル・レベルのトレース情報を表示できます。

Agilentのインターコネクトプロトコル 解析ツール・セット

	PCI Express V1.0、仕様の変化に伴ってアップデート	シリアルATAおよびATAPI、最高1.5 GHzの00Bシグナリング(リアルタイム)	RapidIO (8ビットおよび16ビット・パラレル)	POS PHY L4 (SPI-4.2) (PPP、ATM、イーサネットなど)	ギガビット・イーサネット TBI	Utopia L1-3 (ATM)、POS-PHY L1-3 (PPP)、MII/GMII (イーサネット)、FlexBus	InfiniBand 4xまたは1x	InfiniBand 1x、4x、12x	MPEG-2
モデル番号	N4220A	N4219A	N4215A	N4214A	N4212A	B4640B	N4217A	N4206A	B4645B
パケット・トリガ	あり	あり	あり	なし	なし	あり	あり	なし	あり
その他の機能	リアルタイム8b/10b、ディスパリティ・エラー、データ・デスクランプリング	CRC/ディスパリティ・チェック、データ・デスクランプリング、10bキャプチャ・モード	CRC/制御ワード・チェック、リアルタイム・アイドル・フィルタ	リアルタイム・アイドル・フィルタ	パケットCRCチェック、8b/10bディスパリティ・チェック		VCRC/ICRCチェック、リアルタイム8b/10b、ディスパリティ・エラー、コンプライアンス・テスト	VCRC、ICRC、8b/10b、ディスパリティ・エラー、1xおよび4xのコンプライアンス・テスト	パケット長チェック、パケットCRCチェック

プロセッサ、バス、FPGAのサポート

ターンキー・ソリューションで解析時間を短縮

- 専用解析プローブでターゲットへの信頼性の高い接続が簡単に行えます。
- 業界標準の多くのプロセッサ、バスをサポート
- プロセッサ・モニターックやバス・サイクル・デコードの表示

Agilentとそのパートナー各社が提供する高品質ツールを利用すれば、測定対象に影響を与えないフルスピードのリアルタイム解析およびプロセッサの実行制御が可能になり、デバッグ・プロセスを短縮できます。

Agilentおよびサードパーティによるプロセッサのサポート

- Actel
- Altera
- AMD
- Analog Devices
- ARM® 7/9TDMI
- GTE
- IBM PPC
- IDT
- Intel® Pentium®, P4, Xeon Pentium Pro, II, III, Celeron™
- Motorola
- National
- NEC
- NKK
- PACE
- QED
- Rockwell
- Siemens
- Texas Instruments
- Xilinx
- Zilog

Agilentおよびサードパーティによるバス、プロトコル、FPGAのサポート

- AGP2X, AGP4X, AGP8X
- CAN
- CSIX
- PC 100, PC 133, DDR, DDR 200, DDR 266, DDR 333, DDR I-400, DDR II
- Fibre Channel
- FireWire (IEEE 1394)
- ギガビットEthernet (TBI)
- GMII
- HyperTransport
- I²C
- InfiniBand 1X, 4X, 12X
- ISA
- JTAG (IEEE 1149.1, 1149.5)
- MPEG-2
- PC 100/133 DIMM
- PCI CardBus
- PCI-EIO
- PCI Express
- PCI Mezzanine
- PCI/EXT-32/64
- PCI-X 1.0, 2.0
- POS-PHY L1 - L3
- Rambus®
- RapidIO
- RS-232, RS-449
- SCSI, Ultra SCSI, SCSI LVD
- シリアルATA
- SIMM, DIMM
- SPI-4.2
- USB 1.1, USB 2.0
- Utopia
- VME 64
- VXI
- Xilinx : Virtex, Virtex - E, Virtex II, Virtex II Pro, Spartan-II, Spartan-II E

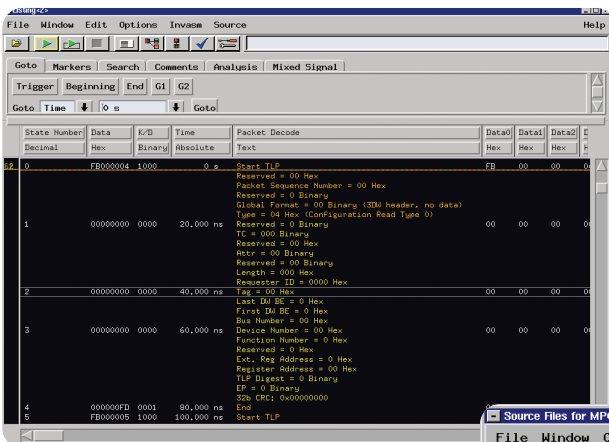


図13 フォーマットの詳細を省いてPCI Expressパケットだけを見ることもできます。

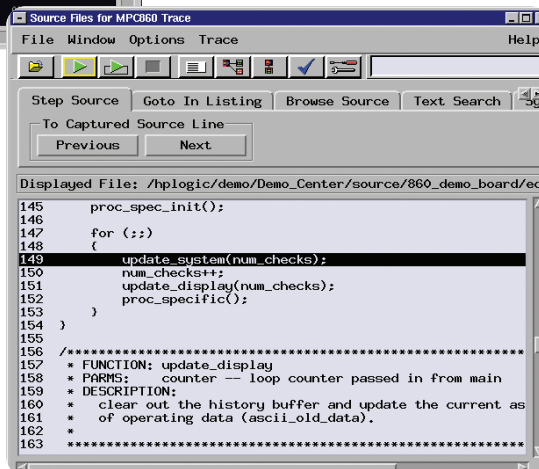
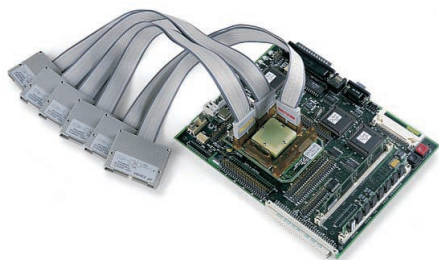


図14 ロジック・アナライザのトレースと、高級言語ソース・コードとを関連させることができます。ソース・コードの行をクリックするだけで次のロジック・アナライザのトレースを簡単に設定できます。

図15 Agilent E5904B
トレース・ポート・アナライザ



3 表示/解析

トレース・ポート・アナライザおよびエミュレーション プロセッサ実行制御とリアルタイム・トレース機能を 提供するクラス最高のデバッグ

- ブレーク、ラン、リセット、シングル・ステップによるプロセッサの制御
- コードのダウンロード、レジスタ/メモリの変更
- 最高200 MHzのトレース解析機能と業界標準デバッグの統合
- 大容量の外部トレース機能と高度なトリガ・ツールを備えたXilinx ChipScope Pro

Agilentのエミュレーション・プローブを使えば、プロセッサのデバッグ・ポートを介して、コードのダウンロード、メモリやレジスタの変更、プログラム実行などが簡単に行えます。トレース・ポート・アナライザには、標準のエミュレーション機能のほかに、リアルタイム・トレース機能があります。エミュレーション・プローブとトレース・ポート・アナライザはどちらも、16700シリーズ・ロジック解析システムと組み合わせることで、様々な組込みプロセッサのハードウェア/ソフトウェアのデバッグが可能になります。

ン・プローブとトレース・ポート・アナライザはどちらも、16700シリーズ・ロジック解析システムと組み合わせることで、様々な組込みプロセッサのハードウェア/ソフトウェアのデバッグが可能になります。

Agilentのトレース・ポート・アナライザおよびエミュレーション・プローブ

エミュレーション・プローブ プロセッサのデバッグ・ポートに接続して、コードのダウンロード、メモリやレジスタの変更、プログラム実行制御などを簡単に実行	モデル番号
ARM® ARM7TDMI, ARM7DI, ARM710T, ARM720T, ARM740T, ARM9TDMI, ARM920T, ARM922T, ARM925T, ARM940T, ARM946ES, ARM966ES	E5900B #300
IBM PPC4XX 401 (すべて)、403 (すべて)、405 (すべて)、NPe405H, NPe405L, 440A4, 440GP, 440GX	E5900B #060
IBM PPC6XX 603, 603e - rev 1, 3, 4, 5, 603ev - rev 2, 12, 603e2, 603P, 603ec, 603R	E5900B #060
IBM PPC7XX 740, 740L, 740P, 750, 750L, 750P, 750CX, 750CXe	E5900B #070
MIPS MIPS32-4Kc, MIPS32-4Km, MIPS32-4Kp, MIPS64-5Kc	E5900B #200
Motorola MPC6XX 603, 603e - rev 1, 3, 4, 5, 603ei, 603ev - rev 2, 12, 603e2, 603P, 603ec, 603R	E5900B #060
Motorola MPC7XX 740, 740L, 740P, 745, 750, 750L, 750P, 750M, 755	E5900B #070
Motorola MPC74XX 7400, 7410, 7440, 7441, 7445, 7450, 7451, 7455	E5900B #110
Motorola MPC8XX 801, 821, 823, 850, 855, 857, 860, 862ファミリ	E5900B #080
Motorola MPC82XX 8240, 8241, 8245, 8250, 8250A, 8255, 8255A, 8260, 8260A, 8264A, 8265A, 8266A	E5900B #100
Motorola M-Core M2107	E5900B #090
トレース・ポート・アナライザ エミュレーションおよびリアルタイム・トレース情報を提供、16700シリーズと組み合わせてシステム解析が可能	モデル番号
ARM ARM7/9-ETM	E5904B #300
IBM PPC4XX 401 (すべて)、403 (すべて)、405 (すべて)、NPe405H, NPe405L, 440A4, 440GP, 440GX	E5904B #060
Xilinx Virtex II, Virtex II Pro, Spartan-II, Spartan-IIe, Virtex, Virtex-E	E5904B #500

Agilent 16700シリーズ まとめ

デジタル・システムの検証は、昔も今も製品開発における最も重要な作業の1つです。テクノロジーの高速化と複雑化に反して、研究開発の予算、リソース、期間は縮小され続けています。これにより、開発日程の目標の達成はますます困難になりつつあります。

開発日程の障害の克服には、Agilent 16700シリーズ・ロジック解析システムがお役に立ちます。

関連カタログ

16700シリーズロジック解析システム、Product Overview、5968-9661J
ロジック解析システム用プロービング・ソリューション、Product Overview、5968-4632J
Processor and Bus Support for Agilent Technologies Logic Analyzers、Configuration Guide、5966-4365E
Agilent E5850A Logic Analyzer/Oscilloscope Time Correlation Fixture、Photo Card、5988-1684EN
Infiniium 54850 Series Oscilloscopes、Infiniimax 1130 Series Probes、Data Sheet、5988-7976EN
Infiniium 54850シリーズ・オシロスコープ、Color Brochure、5988-3788JA
Xilinx ChipScope ProとAgilent FPGAトレース・ポート・アナライザを使用したFPGAデバッグ、Product Overview、5988-7352JA
PCI Express設計検証ツール、Color Brochure、5988-7780JA
シグナル・インテグリティ・ソリューション、Color Brochure、5988-5405JA
InfiniBand用テスト・ツール、Color Brochure、5988-2424JA



図16 Agilent 16700シリーズ・ロジック解析システムは、厳しい開発日程目標の達成を支援します。

Microsoft®はMicrosoft Corporationの米国における登録商標です。

Windows®およびMS Windows®はMicrosoft Corporationの米国における登録商標です。

UNIX®はOpen Groupの登録商標です。

Intel®はIntel Corporationの米国における登録商標であり、Celeron™は同社の米国における商標です。

Pentium®はIntel Corporationの米国における登録商標です。

ARM®はARM Limitedの登録商標です。

Rambus®はRambus Inc.の商標です。

サポート、サービス、およびアシスタンス

アジレント・テクノロジーが、サービスおよびサポートにおいてお約束できることは明確です。リスクを最小限に抑え、さまざまな問題の解決を図りながら、お客様の利益を最大限に高めることにあります。アジレント・テクノロジーは、お客様が納得できる計測機能の提供、お客様のニーズに応じたサポート体制の確立に努めています。アジレント・テクノロジーの多種多様なサポート・リソースとサービスを利用すれば、用途に合ったアジレント・テクノロジーの製品を選択し、製品を十分に活用することができます。アジレント・テクノロジーのすべての測定器およびシステムには、グローバル保証が付いています。製品の製造終了後、最低5年間はサポートを提供します。アジレント・テクノロジーのサポート政策全体を貫く2つの理念が、「アジレント・テクノロジーのプロミス」と「お客様のアドバンテージ」です。

アジレント・テクノロジーのプロミス

お客様が新たに製品の購入をお考えの時、アジレント・テクノロジーの経験豊富なテスト・エンジニアが現実的な性能や実用的な製品の推奨を含む製品情報をお届けします。お客様がアジレント・テクノロジーの製品をお使いになる時、アジレント・テクノロジーは製品が約束どおりの性能を発揮することを保証します。それらは以下のようなことです。

- 機器が正しく動作するか動作確認を行います。
- 機器操作のサポートを行います。
- データシートに載っている基本的な測定に係わるアシストを提供します。
- セルフヘルプ・ツールの提供。
- 世界中のアジレント・テクノロジー・サービス・センタでサービスが受けられるグローバル保証。

お客様のアドバンテージ

お客様は、アジレント・テクノロジーが提供する多様な専門的テストおよび測定サービスを利用することができます。こうしたサービスは、お客様それぞれの技術的ニーズおよびビジネス・ニーズに応じて購入することが可能です。お客様は、設計、システム統合、プロジェクト管理、その他の専門的なサービスのほか、校正、追加料金によるアップグレード、保証期間終了後の修理、オンサイトの教育およびトレーニングなどのサービスを購入することにより、問題を効率良く解決して、市場のきびしい競争に勝ち抜くことができます。世界各地の経験豊富なアジレント・テクノロジーのエンジニアが、お客様の生産性の向上、設備投資の回収率の最大化、製品の測定精度の維持をお手伝いします。



電子計測UPDATE

www.agilent.com/find/emailupdates-Japan

Agilentからの最新情報を記載した電子メールを無料でお送りします。

Agilent電子計測ソフトウェアおよびコネクティビティ

Agilentの電子計測ソフトウェアおよびコネクティビティ製品、ソリューション、デベロッパ・ネットワークは、PC標準に基づくツールによって測定器とコンピュータとの接続時間を短縮し、本来の仕事に集中することを可能にします。詳細についてはwww.agilent.co.jp/find/jpconnectivityを参照してください。

アジレント・テクノロジー株式会社

本社 〒192-8510 東京都八王子市高倉町9-1

計測
お客様窓口

受付時間 9:00~19:00
(12:00~13:00も受付中)
※土・日・祭日を除く

FAX、E-mail、Webは**24**時間受け付けています。

TEL ☎ **0120-421-345**
(0426-56-7832)

FAX ☎ **0120-421-678**
(0426-56-7840)

E-mail: contact_japan@agilent.com

電子計測ホームページ

<http://www.agilent.co.jp/find/tm>

- 記載事項は変更になる場合があります。
ご発注の際はご確認ください。

Copyright 2003
アジレント・テクノロジー株式会社



Agilent Technologies

www.agilent.co.jp/find/la-systems

July 18, 2003
5988-8435JA
0000-00DEP